

一般質問通告書(平成 28 年 6 月定例会)

氏 名・質問事項・答弁先	質 問 要 旨
<p>1 13番 村上 和子</p> <p>1 空家対策として解体費用の一部負担等の補助施策や空家バンクの設置を (町 長)</p>	<p>(1) 昨年6月、空家対策について質問し、町の空家の実態調査と条例改正を考えるとの答弁をいただき、町では早速空家の所有者の意向のアンケートや調査をされ、危険な空家が4件あったと聞いているが、他の空家の状況等はどうだったのか伺う。</p> <p>住む予定のない空家は昨年空家対策措置法が全面施行され、自治体は一定の手続きを踏めば、倒壊の恐れのある危険な空家の行政執行ができる。優先順位としては危険な空家を対処すべきと考えるが、空家の所有者の意向に関するアンケートでは、解体したいが解体費用の支出が困難で解体できないというものが多くあった。今、初めて人口減少化・超高齢化時代を迎え、住宅に住みたいが何らかの事情で住むことができない、生活様式も様変わりの時代であり、今後ますます住む予定のない空家が増えるものと思われる。</p> <p>空家の解体費用の一部を町で負担する補助施策を考えてはどうか。</p> <p>(2) 空家バンクの設置について</p> <p>空家の有効活用には、需要と供給をマッチングさせるシステムが必要であり、空家の売買、賃貸などを登録し、情報発信する空家バンクの設置が必要ではないか。また、インターネットでは「北海道空家情報バンクのご案内」があり、上川総合振興局のホームページを検索すると見ることができるようになっているが、上富良野町は登録されていないので、これに登録してはどうか。</p> <p>(3) 空家の有効活用について</p> <p>空家の所有者が、空家を貸してもいいとの意向であれば、行政としては空家を借り上げて地域のコミュニティーセンター・子どもの遊ぶ場所に利活用する考えはないか。</p>
<p>2 公営住宅の管理について、指定管理者制度導入を考えてはどうか (町 長)</p>	<p>公の施設の管理に民間事業の手法を活用することにより、管理に要する経費を削減することが可能となり、指定管理者に対する支出金の低減が図られ、メリットが期待されると考える。消費税の増税が再び延期されたことで、地方自治体の財政にも影響が出る。消費税率8%から10%になるとその中の地方消費税も1.7%から2.2%に上がる予定であった。そのため、地方分1.7兆円が入らず、こういった状況を見ると、今後地方自治体としても民間に任せることで経費節減になるとすれば、アウトソーシング、新しく公営住宅の維持管理等指定管理者制度の導入等を考えていく必要があると考えるがいかがか。</p>

<p>2 10番 高松 克年</p> <p>1 農業振興の実践プランの内で酪農畜産の計画実践の方向性と、今後の支援対応について</p> <p>(町 長)</p>	<p>(1) 堆肥コントラクター整備 実施の方法として、集積してバイオガスプラントによる発電まで考えているのか。</p> <p>(2) 地元での生産物の地産地消、食育、流通、利活用、実施と拡大についての具体的な取り組みは。</p> <p>(3) 担い手を支える体制としてコントラクター、T.M.R等の整備とあるが、労働力軽減、作業の効率化、酪農ヘルパー制度も大きな働きをしている。人材確保等も必要とされる。今後の進め方は。</p> <p>(4) 28年度をもって畜産担い手総合整備「新ふらの地区」が終止となるが、29年度に向かいどのように進められて実施される見通しと展望は。</p> <p>以上、伺いたい。</p>
<p>2 障がい者に対してより一層の支援を</p> <p>(町 長)</p>	<p>(1) 今年度の執行方針の中に障がい者就労施設等からの調達方針を策定し、優先的、積極的調達に取り組むとあるが、現在どのような調達が行われているか、また問題点としては何があるか。</p> <p>(2) 今年度、改正障害者雇用促進法が施行され、法定雇用率2%を実施するための雇用分野への差別的扱いが禁止されたが、今後、募集・採用に機会均等をはかる配慮が必要となるが、現在の町の雇用率は何%となっているのか、伺う。</p>
<p>3 9番 荒生 博一</p> <p>1 防災対策について</p> <p>(町 長)</p>	<p>十勝岳大正噴火の泥流災害より90年目の今年、熊本ではマグニチュード7.3の地震が発生し多くの方々が被災された。そこで、上富良野町の防災対策に関して町長の所信を伺う。</p> <p>(1) 防災訓練のあり方について 十勝岳噴火に対する備えだけではなく、地震に対しての訓練も必要なのでは</p> <p>(2) 防災の拠点施設の耐震は十分か 役場庁舎及び消防庁舎等、本部機能の確保体制。</p> <p>(3) 避難所の確保体制について 一次避難所、二次避難所、福祉避難所の確保は整っているのか。</p>
<p>2 商業振興策について</p> <p>(町 長)</p>	<p>本年3月に策定された上富良野町商業振興計画は、第5次上富良野町総合計画の商業分野の分野別計画として、30年度までの3年間に進める取り組みとのことだが、そこで町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 商業振興計画の重要項目は何か。</p> <p>(2) 3年間で具体的にどのように進めていくのか。</p>

<p>4 1番 中澤 良隆</p> <p>1 認知症患者の現状と予防対策について</p> <p>(町 長)</p>	<p>高齢化の急速な進行により、国では、2025年には5人に1人が認知症を患うことになると予測している。同様に上富良野町においても増加傾向にある。</p> <p>認知症患者の急激な増加、家族の抱える問題の深刻さが社会問題化している。</p> <p>認知症対策は、現在においても将来においても上富良野町の最も重要な課題の一つであるとの認識から、町の対策についての考えを伺う。</p> <p>(1) 上富良野町の認知症患者数と軽度認知症の方を加えた推計は。</p> <p>(2) 住み慣れた地域で在宅生活を続けていくためには、普段からの認知症を予防する対策が重要と考える。本町では、どのような予防対策を行ってきたか伺う。</p> <p>(3) 気安く相談できる認知症相談窓口が必要と考える。わが町の認知症相談窓口はどこで、その住民周知は十分か伺う。また、新オレンジプランの中では、専門職の「認知症地域支援推進員」の配置を進めているが、推進員配置の考えについて伺う。</p> <p>(4) 認知症患者や家族を支える地域づくりが重要である。地域を支える「認知症サポーター」の充実が急務である。わが町の取り組み状況、養成講座受講数と今後の養成計画について伺う。</p> <p>(5) 判断能力の不十分な方々を保護するための「市民後見人」制度について、その後の養成に対する進捗状況について伺う。</p>
<p>2 2015 介護保険法改正に伴う取り組み状況について</p> <p>(町 長)</p>	<p>介護保険制度が改正され、要支援 1・2 の方が使っていた訪問介護と通所介護が全国一律の事業から市町村の事業に、特別養護老人ホームへの入所は、原則、要介護 3 以上に限定されることとなる。また、利用者の自己負担割合が、一定以上の所得がある方は、1割負担から2割負担となる。</p> <p>これらの改正点の中で、特に関心を持っているのが、要支援 1・2 が市町村の事業になることであり、このことは、市町村間の格差を生み、対応がまちまちになる恐れがあると考え。現時点で、上富良野町の具体的な方針や取り組み状況について伺う。</p> <p>(1) 介護予防・日常生活支援事業への取り組みは、予定通り平成 29 年 4 月から実施することに変更はないか伺う。また、平成 29 年 4 月までどのようなタイムスケジュールで準備を進めようとしているのか伺う。</p> <p>(2) 現在の介護予防サービスの利用者は、新制度に移行になっても今までと同様に訪問介護・通所介護が受けられると解しているか伺う。また、利用者負担は、現在の利用料と大きな変化があるのか伺う。</p> <p>(3) 要支援 1・2 が市町村の事業になり、訪問・通所介護が保険給付から切り離され、サービスの担い手がボランティアやNPO 法人が中心となる。上富良野町において、担い手となるボランティア・NPO</p>

	<p>は十分な状況にあるのか。また、既存の組織で対応しようとしているのか、新たに組織化しようと考えているのか展望を伺う。</p>
<p>5 5番 今村 辰義 1 電力の自由化に伴う町の取り組みについて (町 長)</p>	<p>電気事業法改定により段階的に電力の自由化が進められ、本年4月からは一般家庭などの小規模需要家部門にも開放され、電気の完全自由化がなされた。先進自治体においては、公共施設などを新電力からの電力調達により、電気料金の削減によるコスト削減に努めている。</p> <p>町は今後も効率的で質の高いサービスを提供していくためには、財政面でのさらなる創意工夫とコスト削減を図ることが望まれる。そのコスト削減の観点からも新電力からの電力調達が必要と考える。</p> <p>そこで</p> <p>(1) 町庁舎、病院など町有公共施設の電気使用量及び電気料金の支出の現状について (2) 新電力への電気調達による施設管理費の削減について (3) 電力の自由化に伴う、今後の町の取り組みについて</p> <p>以上について、町長に伺う。</p>
<p>2 町内河川流域の樹木伐採について (町 長)</p>	<p>町内を流れる石狩川水系の富良野川は、市街地をおおむね南北に縦断しているが、近年河川内における樹木の繁茂と拡大が進行しており、流下能力の低下による治水上の問題、繁茂による景観上の課題ともなっている。</p> <p>また、河川法の改正を受け、河道内樹木の伐採や植樹に関する基準も見直され、新たに「河川区域内における樹木の伐採・植樹基準」(平成10年6月)が定められた。</p> <p>その基本方針で河川整備計画等を踏まえて、適切に樹木の伐採、植樹及び樹木の管理を行い、当該樹木の有する洪水の流勢の緩和等の治水機能及び植生の保全、良好な景観育成等の環境機能、当該樹木の生態的な特性等を十分考慮するとされているが、近年のゲリラ的集中豪雨や河川の樹木の繁茂の現状を見たとき、これらの状態を超えているのではと察する。</p> <p>安心・安全の観点から、富良野川を含む町内河川流域の樹木伐採について河川管理者(実務上の担当者)と相談するべきと思うが、町長はどのような考えか伺う。</p>
<p>6 11番 米沢 義英 1 特別養護老人ホームについて (町 長)</p>	<p>2025年までに高齢者が増え続けピークに達するといわれており、特別養護老人ホームの等の介護施設の充実が必要と考えるが、次の点について伺いたい。</p> <p>近頃では、介護施設の個室化などが進んでいるが、特別養護老人ホームの増床や改修などの計画を持っているのか伺う。</p>

2 地域支援事業について (町 長)	改定介護保険法のもとで、要支援に対する通所サービスなどの提供が、公的支援を含めボランティアの活用もできるとなっているが、公的サービスを維持しながら今後どのように対応されるのか伺う。
3 観光振興について (町 長)	観光振興については、現在、観光振興計画に基づいて進められているが、景観ポイントの整備、案内標識及び駐車場などの整備が遅れていると考えるが、今後の対応について伺う。
4 道の駅について (町 長)	道の駅を設置して欲しいとの要望が住民からもあったが、町は明確な答弁をしてきていない。町が実施すべき事業ではないとも答弁されてきたが、今後の計画について伺う。また、運営等はどのようにするのか。更に、今まで答弁してきたことに矛盾はないのか伺う。
5 西小学校のグラウンドの整備について (教育長)	グラウンドの水はけがよくなく、運動会も延期になったが、今後の対応について伺う。
6 上富良野中学校校舎の改築について (教育長)	上富良野中学校の2期工事は、国の補助金がもらえなくなり、今年度予定していた校舎の建設見通しが立たなくなっているが、財源の確保を含めた今後の対応について伺う。
7 12番 中瀬 実 1 見晴台公園の今後の方向について (町 長)	見晴台公園は、平成19年に地域振興を図る目的でオープンした。町としては上富良野の現在の拠点としての役割を果たすように整備するとあるが、情報ステーションとしての案内所はあるが、上富良野への観光客を呼び込むための機能はまだ果たしていないと思われる。 (1) 今後、見晴台公園をアピールし、観光客を町内の施設へ誘導するための考えはあるのか伺う。 (2) 見晴台公園の誘導看板を作る予定はあるのか伺う。
2 日の出公園の駐車場について (町 長)	2008年に農地法一時転用違反発覚してから今日まで、日の出公園の駐車場問題は解決していない。2009年からイベント時はキャンプ場東側の離れた場所を一時的に借り、そこから送迎をしているのが実態である。この公園を訪れる観光客に対し、決して優しい対応とは思えない。 (1) 今後町は日の出公園駐車場を確保する考えはあるのか伺う。 (2) 日の出公園を今後も観光拠点とするために施設整備をする考えがあるか伺う。